

市民ホール大規模改修工事に伴う休館

岡市民ホール整備室 ☎(582)1142 FAX(582)9441

守山市民ホール(守山市民文化会館)は、昭和61年11月の開館から40年近くが経過し、今後も安心・安全にご利用いただけるよう、現在、大規模改修事業に取り組んでいます。

今年度は基本設計、令和8年度は実施設計、令和9年度からは工事を予定しており、工事期間中は全館休館します。利用者の皆さまには大変ご不便をおかけしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

休館期間(予定)

令和9年4月1日～令和11年10月31日

※進捗状況により、休館期間は変更となる場合があります。



	令和7年度 (2025)			令和8年度 (2026)			令和9年度 (2027)			令和10年度 (2028)			令和11年度 (2029)											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
基本設計 実施設計 工事																								
休館期間																								

国宝と出会う

佐川美術館「アートコラム」96

学芸員 佐川美術館
藤井 康憲



大阪・関西万博の開催に合わせて、国宝が勢ぞろいの展覧会が京都、大阪、奈良の関西3都市で開催された記憶も新しく、世間の注目を集めた「国宝」。この国宝という言葉が用いられるようになったのは、明治期、全国の文化財を調査し、保護する政策が政府機関によって始められた時です。

文化財保護法に基づいて指定された重要文化財のうち意匠や技術に優れ、学術的な価値が高く、世界に誇るものが、文部科学大臣によって国宝に指定されます。今やその件数は1,100件以上にも上ります。

ところで、皆さんは佐川美術館にも国宝の梵鐘が所蔵されていることをご存じでしょうか。平安時代の858年に鑄造され、延暦寺の西塔・宝幢院に伝わったことが鐘の中の銘文からうかがえます。銘により鑄造時期が明らかな梵鐘としては国内で6番目に古く、貴重な例として国宝に指定されました。

著しく縦長のスマートなフォルムは古い時代の梵鐘にしばしば見られますが、とりわけ丸みを帯びていない直線的なシルエツトは他に類を見ません。異色ともいえるそのスタイリッシュな姿には圧倒されます。

また、頂上の吊り手(龍の頭部をかたどった龍頭)や、鐘をつく八弁の蓮華の形が象られた撞座は、装飾性を抑えた造形です。まさにシンプルイズベスト、格調高く洗練されたそのたたずまいが際立ちます。

4年ぶりの公開となる梵鐘は、9月28日(日)までご覧いただけます。

※開館情報は、佐川美術館ホームページでご確認いただくか、電話[(585)7800]でお問い合わせください。